

作成番号:0229

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数:2024-229

内容:禁煙に成功すると心房細動のリスクは速やかに低下する

出典:Smoking Cessation and Incident Atrial Fibrillation in a Longitudinal Cohort.

JACC. Clinical electrophysiology. 2024 Aug 08; pii: S2405-500X(24)00635-2.

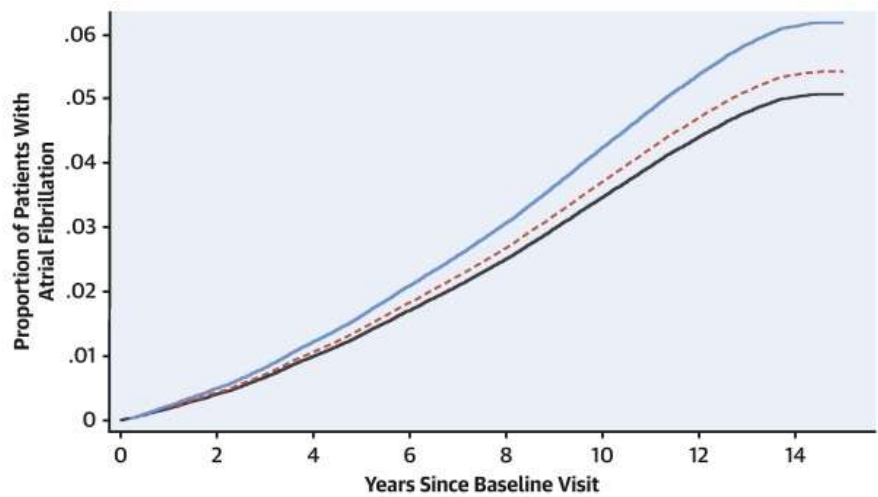
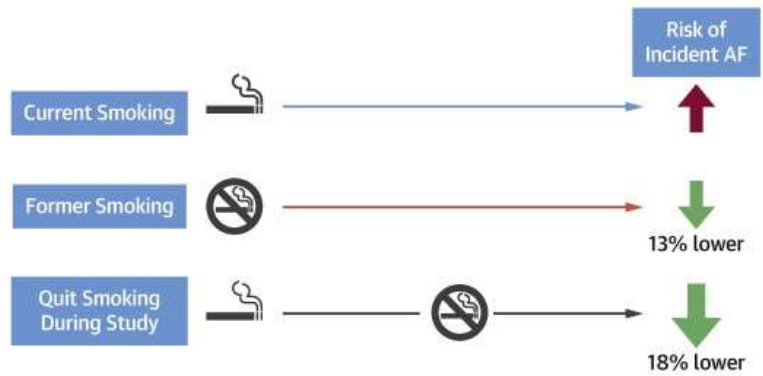
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39269397/>

心房細動は不整脈の一種で、心臓の心房と呼ばれる部分が不規則に拍動する病気で、動悸やめまいなどを生じることがある。更に、心臓の中に血液の塊(血栓)が形成され、その血栓が脳動脈に飛んで脳梗塞が起こすことが大問題である。喫煙は心房細動のリスク因子だが、禁煙がそのリスクに影響するか否かを、米カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)の研究者らが調べ、その詳細は「JACC: Clinical Electrophysiology」に9月11日掲載された。

英国の大規模疫学研究「UK バイオバンク」に参加している現喫煙者や元喫煙者、146,772人(平均年齢 57.3 ± 7.9 歳、女性48.3%)のデータが用いられた。このうち105,429人(71.8%)は元喫煙者、3,966人(2.7%)は研究期間中に禁煙した人で、37,377人(25.5%)は喫煙を続けていた。平均 12.7 ± 2.0 年の追跡で、11,214人(7.6%)が心房細動を発症した。心房細動の発症リスクを比較すると、現喫煙者を基準として元喫煙者ではリスクが13%低く(ハザード比[HR]0.87[95%信頼区間0.83~0.91])、研究期間中に禁煙した人では18%低かった(HR0.82[同0.70~0.95])。

現在喫煙している人や長年喫煙してきた人でも、禁煙によって心房細動のリスクを下げられるのである。

CENTRAL ILLUSTRATION: Adjusted Risk of Atrial Fibrillation by Smoking Status



	0	2	4	6	8	10	12	14
Number at Risk								
Current	37,377	37,183	36,869	36,502	36,099	35,611	31,303	6,937
Former	105,429	104,631	103,533	102,221	100,758	99,075	85,637	15,830
Quit	3,966	3,950	3,932	3,904	3,882	3,833	3,413	754
Smoking Status								
	—	---	—					
	Current Smoking	Former Smoking at Baseline	Quit Smoking During Study					

Teraoka JT, et al. *JACC Clin Electrophysiol.* 2024;10.1016/j.jacep.2024.06.019